

別記  
第1号様式（第14条関係）

### 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	2023年 6月 20日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 滋賀県彦根市西今町1番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 株式会社平和堂 代表取締役 平松 正嗣
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2015
適 用 範 囲	全店
導 入 年 月 日	2002年 7月 12日
認 証 番 号	13856
基 本 方 針	私たちは、お客さまのご満足向上をめざし、安全で安心な消費サービスの提供を行うとともに、地域環境保全のために自ら責任を持ち、全社をあげて取り組んでいきます。さらにお取引先や地域社会とのコミュニケーションを重視した環境保全活動を進めることで持続可能な循環型社会に寄与していきます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	環境配慮型商品の販売拡大 売上高昨年比103% 一次エネルギー使用量の削減 前年比原単位1% 紙の使用量削減 前年比1% 配送車両の使用燃料の削減 センター集荷便数 昨年比1%削減 食品リサイクル率の向上 65.0% 平和堂おしごと&エコクラブの拡大 参加団体160団体
目標を達成するための取組の内容	・エコとく商品の販売拡大・POP訴求・ポスター作成 ・節電・空調管理の徹底、省エネ設備への入替 ・お買物袋持参運動の推進、販促物への持参促進掲載 ・省エネ設備入替・エネルギー転換 ・生ごみ分別回収店舗の拡大、食品リサイクルループの継続、リサイクル業者選定 ・店舗商圏内小学校へのアプローチ
目標を達成するための取組の進捗状況	環境マネジメントプログラムに基づき、上記取組内容を実施。取組内容の変更はなく、達成が難しい状況の目標については不適合として是正、予防措置を講じて改善に取り組み進めた。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	環境配慮型商品の販売拡大 192億円 ○ 一次エネルギー使用量の削減 前年比原単位5.7%削減 ○ 紙の使用量の削減 前年比原単位2.8%増加 × 配送車両のセンター集荷便数 昨年比0.9%増加 × 食品リサイクル率の向上 63.6% △ 平和堂おしごと&エコクラブの拡大 73団体4,318名参加
事業活動に係る法令の遵守の状況	毎年11月に内部環境監査を全店舗で実施。その際に環境法規制等の自主点検も実施。直近までの届出、報告書類等の状況確認、法定測定の実施及び基準値内の結果確認。 省エネ法改正に伴う報告書等届出も完了。容り法・食り法の定期報告についても問題なし。 地域の条例対応については、調査確認の上、対応済みを確認。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	マネジメントレビューについては、毎年1回、社長へ年間のEMSの進捗状況を報告している。レビューの結果、店舗下水排水の水質改善を進める。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。